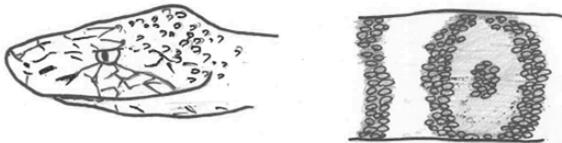


注意しよう！野外の動植物

～特徴をよく知り、事故を未然に防ごう！～

マムシ



- 特徴 ▶ 太くて短いヘビ
▶ 体の両側に黒みがかかった銭形模様
▶ かまれると命にかかわる

- 対応 ▶ 素足・サンダルなどで歩かない
▶ 不用意に草むらに入らない
▶ 見つけても刺激しない

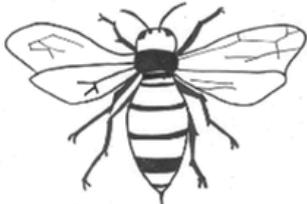
ヤマカガシ



- 特徴 ▶ 全体に黒っぽく、首筋は黄色
▶ 黒い斑点と赤い模様が目立つ
▶ 奥歯・首筋から毒液を出す
▶ 深くかまれると命にかかわる

- 対応 ▶ 素足・サンダルなどで歩かない
▶ 不用意に草むらに入らない
▶ 見つけても刺激しない

スズメバチ



- 特徴 ▶ 攻撃性、毒性とも強い
▶ さされると命にかかわる
▶ 秋に被害が多い

- 対応 ▶ 飛んでいるハチを手ではらったり、つかまえようとしたりしない
▶ 巣に近づいたり、刺激したりしない



- ◎ 野外を歩くときの服装を整えよう
長そで、長ズボン、歩きやすい靴、帽子など
- ◎ 周囲の動植物に気をはらおう
見つけても、さわったり、つかまえたり、刺激をあたえたりしない

ハゼノキ・ヤマウルシ・ヌルデ



- 特徴 ▶ 「まけの木」とも呼ばれる
▶ 植物体すべてが毒をもつが、特に樹液に注意

- 対応 ▶ ふれただけで皮膚に炎症を起こすこともあるので、さわらない

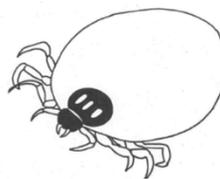
ケムシ



- 特徴 ▶ ドクガ・マツカレハなどの幼虫は、毛に毒がある

- 対応 ▶ 体や衣服についても、素手でつかんだりはらったりしない
▶ 毒のある毛がついた時、こすったりかいたりしない
(毛は、セロハンテープをあてて取り除くか、そっと洗い流すのがよい)

マダニ



- 特徴 ▶ 0.3～1cmの大きさ
▶ かまれると命にかかわることがある
▶ かまれた時、無理に引き抜くとちぎれて、口の一部が皮膚に残る

- 対応 ▶ 素肌を出さない
▶ 虫除けスプレーを使い、皮膚につかないようにする
(万が一、かまれていた場合は、無理に取らずに病院で処置をしてもらい、その後も発熱がないか2～3日は注意が必要)